

インターンシップの活動例 2

日本貿易振興機構（JETRO） 千葉貿易センター

先端医学薬学専攻 貝塚祐太

ジェトロ千葉貿易情報センターの貿易・投資促進支援業務を実践的に学ぶと共に、千葉県下中堅・中小企業の海外展開の現状・課題・取り組みについても学んだ。

本インターンシップを通し研究成果を国内外に発信するための実績的手法や、研究成果を社会実装する前に特許による知財保護が重要であることも学んだ。



インターンシップの活動例 1

ヘキレキ舎（福島県いわき市小名浜）

人文公共学専攻 小牧 瞳

福島県沿岸部（浜通り）に位置する小名浜で食、医療、福祉など、様々な分野の企画・情報発信を行う「ヘキレキ舎」にてインターンシップを実施した。

ローカルアクティビストである小松理虔氏が主宰する「ヘキレキ舎」では震災により地域のあり方について再考を余儀なくされている地域に対し、文化人類学の「中心—周縁」という観点から文化を捉え直すような復興のあり方を提案しており、インターンシップを通じて自身の専門である教育方法学の研究に文化人類学の理論と実践を取り入れることができた。



自主発展型研修（海外研修）活動例 2

南極観測に関する紹介

地球環境科学専攻 鈴木拓海

大学院生が南極へ行く手段として、南極地域観測隊の同行者に選ばれる方法がある。

研究室の教授（竹内望先生）に関係を繋いでいただき、国立極地研究所の南極で最古級のアイスコアを掘削するという計画の主導者である、川村賢二先生に推薦され、同行者に選ばれる運びとなった。

120mほどのアイスコアを掘削した。

富士山ほどの標高で、気温は氷点下30度を下回る。今後、アイスコア研究の業界で、掘削の経験が活きると思う。

メンバーに、建築作業員、車両整備士、医者、料理人、新聞記者、電気整備士や登山ガイドなど、研究者以外の方とも触れ合うことができた。

南極観測に携われたことで、今後の南極観測のプロジェクトにも携われるきっかけができた。



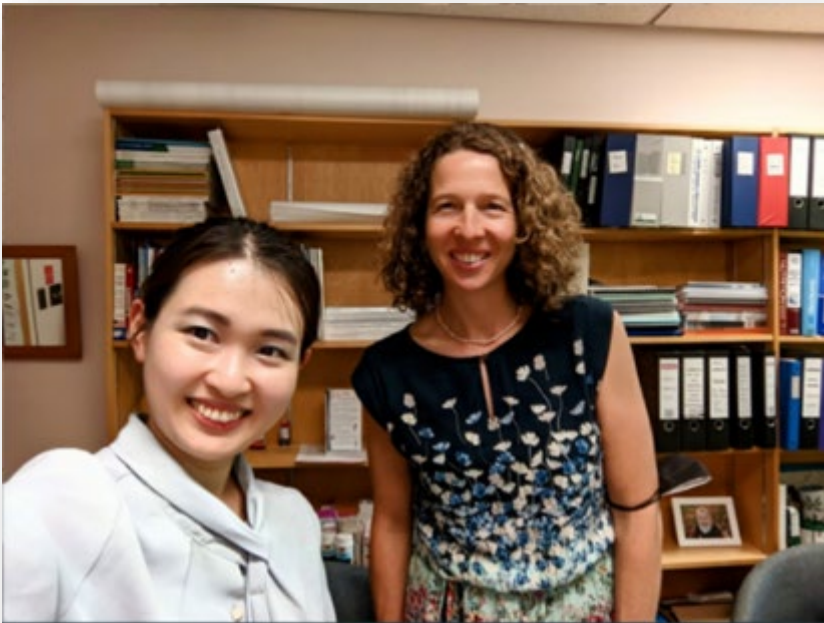
自主発展型研修（海外研修）活動例 1

— University of British Columbia (UBC) —

予防医学共同専攻 原 千里

バンクーバーで開催された国際学会（DOHaD WORLD CONGRESS 2022）参加のタイミングに合わせて UBC の Deborah 教授にアポイントを取り、研究室を訪問した。

母子を対象としたコホート調査など互いの研究内容についてのディスカッションや研究室の学生との研究交流など、今後の自身の研究発展に繋がる経験となった。



UBC 見学・研究室訪問

キャンパス内施設、実験室見学

研究の情報交換